



Daiwabo Planet

第109期 ビジネスレポート
2019年4月1日～2020年3月31日



前期に引き続き増収増益を達成し 収益ともに過去最高を 更新いたしました

本年4月、代表取締役社長に就任いたしました西村でございます。

この度の新型コロナウイルス感染症被害者の皆様には、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い収束を心よりお祈り申し上げます。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第109期ビジネスレポートをお届けいたしますので、ご高覧いただけましたら幸いです。

ダイワボウホールディングス株式会社
代表取締役社長

西村 幸浩



当期のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な企業収益を背景に個人消費と設備投資が底堅く推移するなど国内需要に牽引され、景気は緩やかな回復基調を辿っておりましたが、第4四半期に入り新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益や個人消費が弱含みに転ずるなど、一転して厳しい局面を迎えました。

当社グループを取り巻く環境は、IT業界ではWindows7サポート終了に伴う更新需要に加え、働き方改革における労働環境整備に伴い企業のIT投資が好調に推移する一方、繊維業界ではインバウンド需要の減退もあり市況が低迷し、産業機械業界でも米中貿易摩擦の影響から設備投資に慎重さが増すなどの逆風もありましたが、全体としては順調な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは2018年4月からスタートさせました中期経営計画「イノベーション21」第三次計画の第2年度を迎え、事業方針として「積極的な事業展開による収益力の向上」「未来志向の新ビジネス創造への挑戦」「成長を支える経営基盤の強化」を掲げ、全てのステークホルダーを念頭においた幅広

い社会貢献型経営を目指し、連結企業価値の向上に努めてまいりました。

その結果、当期の連結業績につきましては、売上高9,440億5千3百万円(前期比20.2%増)、営業利益328億4千百万円(前期比44.6%増)、経常利益331億9千5百万円(前期比45.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益211億7千8百万円(前期比26.2%増)となり、いずれも過去最高を達成いたしました。

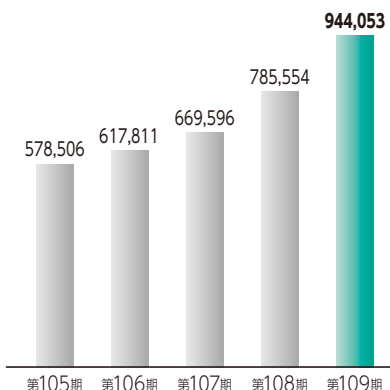
主な要因は、ITインフラ流通事業の大幅な伸長で、特に営業利益は前期比61.7%増となりました。

株主様への還元につきましては、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動全般が制約を受けるなか、景気の先行きは国内外ともに下振れリスクが懸念されております。収益確保と持続的成長を維持していくためには、不時の資金需要や投資に備え、かつ来期以降も安定的な利益配当を継続するべく、内部留保資金の確保が必要であると認識しております。よって、前期末普通配当と同水準を維持し、1株当たり160円とさせていただきます。

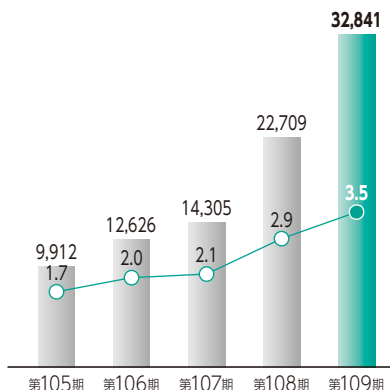
グループ経営理念

私たちは、創造と革新、融合のシナジーによって、グローバル市場でお客様第一に新たな価値を生み出し、人間社会と地球環境に役立つ未来を実現します。

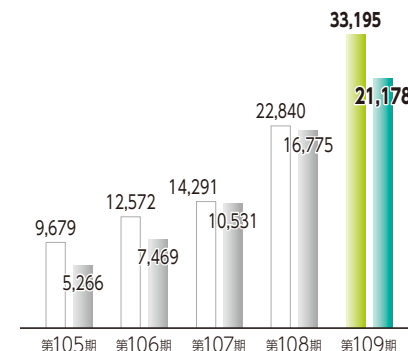
■ 売上高 (単位: 百万円)



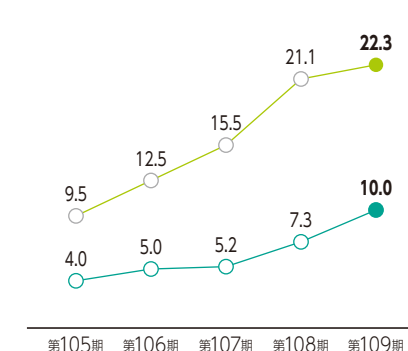
■ 営業利益 (単位: 百万円) ● 営業利益率 (%)



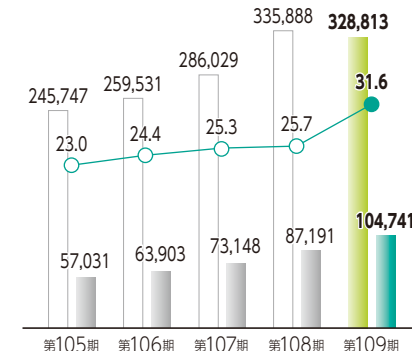
■ 経常利益
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)



● ROE (自己資本利益率)
● ROA (総資産利益率) (%)



■ 総資産 ■ 純資産 (単位: 百万円)
● 自己資本比率 (%)



初年度に続き2年目も
過去最高業績で目標を大幅に達成

中期経営計画「イノベーション21」第三次計画の進捗につきまして、過去2ヵ年のご報告をいたします。ITインフラ流通事業は、需要の高まりを的確に捉えた結果、2ヵ年ともに過去最高業績を更新し、数値目標を全て達成しております。繊維事業、産業機械事業はともに、初年度は売上高、営業利益を達成したものの第109期は未達という結果となりました。グループ全体としましては、2ヵ年とも売上高・営業利益において大幅に目標を達成しております。

最終年度である第110期(2021年3月期)は、第三

次計画の総仕上げとして、目標達成へ注力するとともに、2020年代の新たな成長戦略に向けた効率的で機動的な経営体制の構築を目指し、改革に取り組んでまいります。

当社は純粋持株会社として、グループ戦略の立案、グループ経営資源の最適配分、グループ業務執行の監督により、更なる「経営の意思決定の迅速化」「監督機能の強化」に努めます。一方、各事業会社は、グループ方針に則り、迅速な戦略決定、強力な業務執行を推進し、「業務執行の権限と責任」を担います。

本年4月には、新たな経営体制の第一歩として、繊維事業の中間純粋持株会社であった大和紡績株式会社を、事業会社との合併により、事業運営を主体とす

る事業持株会社へ移行いたしました。これにより主要3事業は、それぞれ中核事業会社を中心とする統一された事業管理体制となりました。

第110期事業方針の骨子は、①リーディングカンパニーとして更なる高みへの挑戦、②持続的発展に向けた成長ドライバーの創出、③たゆまぬ変革による高効率経営の追求といたしました。連結業績の観点から、パソコンの更新需要の反動を想定し、各事業会社が一丸となってグループ全体の新たな成長軌道の構築を目指すものです。

また、社会課題解決に貢献する新しい成長戦略もすでに取り組みを開始しております。ITインフラ流通事業では全国各地における企業のIT化推進、教育の

情報化、サブスクリプション管理ポータル「iKAZUCHI(雷)」による新たなビジネス共創の場の提供など、繊維事業では環境負荷低減に貢献する商品開発や防災・減災対策商品の販売、産業機械事業では、航空機分野や鉄道分野での社会インフラを支えるモノづくりに注力しております。

中期経営計画「イノベーション21」第三次計画の最終年度の業績見通しは、第110期において新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが困難なことから、現時点では未定としております。今後、業績への影響を慎重に見極め、業績予想の算出が可能となった時点で速やかに公表させていただきます。

中期経営計画
「イノベーション21」第三次計画
2019年3月期～2021年3月期

位置づけ

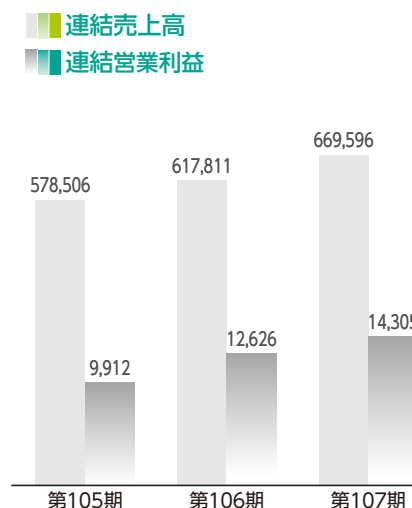
- ITインフラを主軸とした幅広い社会貢献型経営
- 収益基盤を活用した積極的な事業展開
- 新たなビジネス創造への挑戦期間

経営基本方針

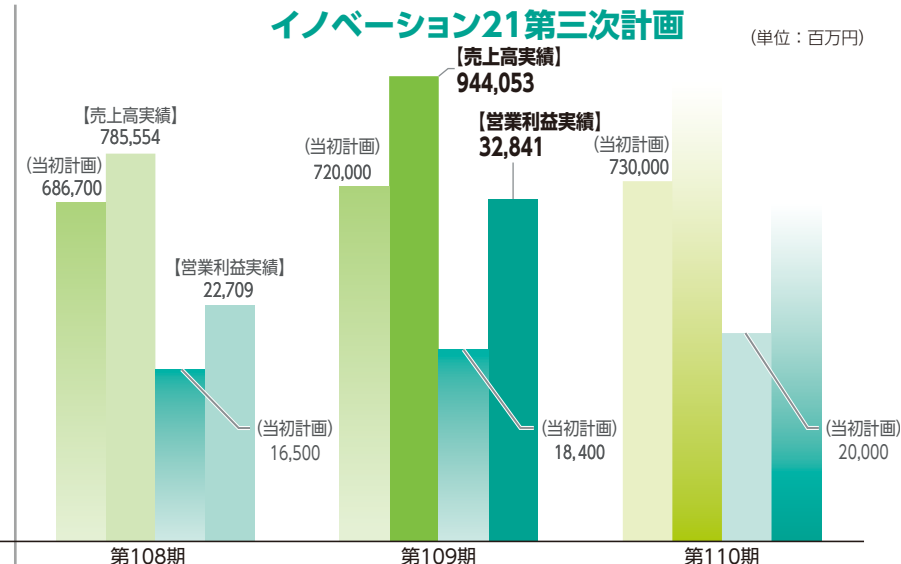
- ITインフラ流通事業のさらなる拡大
- 繊維事業および産業機械事業での収益力強化
- コーポレート戦略推進による連結企業価値向上

中期経営計画の進捗状況

イノベーション21第二次計画(実績)



イノベーション21第三次計画



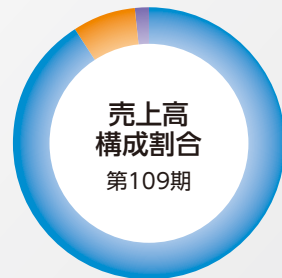
さらなる成長の鍵となるダイワボウグループ
ITインフラを主軸とし、生活関連・産業分野での
幅広い社会貢献型の経営

グループ協業体制の強化により、コーポレートブランド「ダイワボウ」の市場優位性を確立します。

ITインフラ流通事業

90.8%

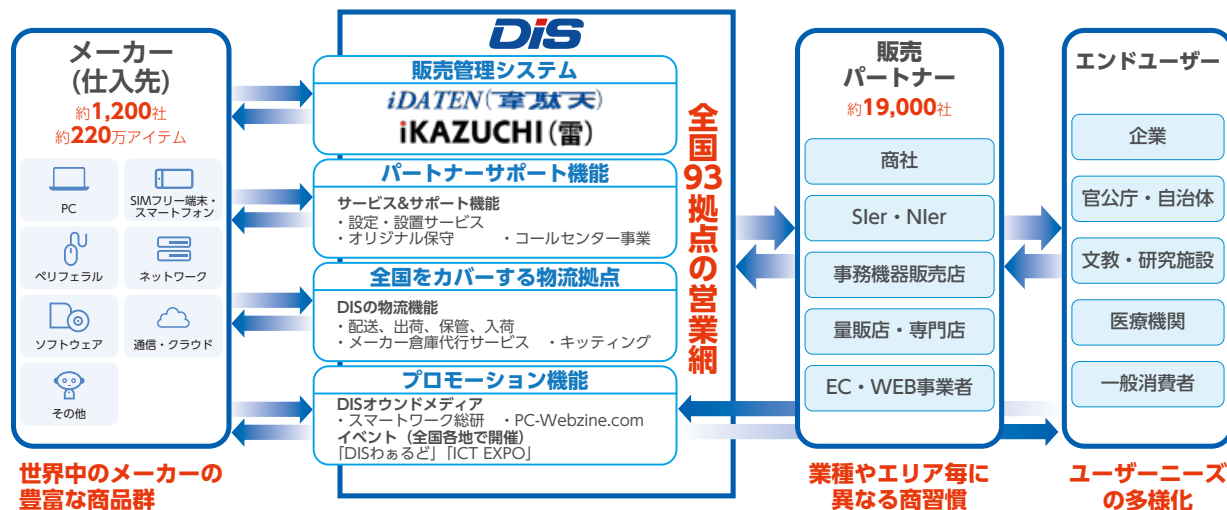
コンピュータ・周辺機器・ソフトウェアの販売、
通信サービス・クラウドサービスの販売、物流サービス、
コンピュータ機器等の導入・保守・修理サービス



繊維事業 7.6%
 化合織綿、不織布製品、
産業資材関連製品、織物、
編物、二次製品の製造販売

産業機械事業 1.4%
 生産設備用機械製品、
鋳物製品の製造販売

ITインフラ流通事業 — 事業構造 —



(注)当社は、2019年4月1日付で人員を増員し、グループ運営およびガバナンス体制について、より一層の強化を図っております。この管理体制の変更に伴い、事業区分別の利益について第109期より事業区分別の業績を適切に反映させるため、当社の本部費用等の配賦方法を変更しております。なお、第108期の事業区分別の営業利益については、変更後の算定方法に基づき算出した金額を記載しております。

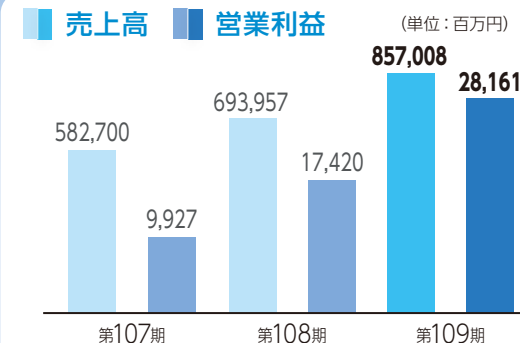


ITインフラ流通事業



情報化社会の発展に貢献する
ディストリビューターを目指し、
常に進化し続けます。

ダイワボウ情報システム株式会社
代表取締役社長
松本 裕之



第109期の概況

法人向け市場では、パソコンの更新需要に加えて、テレワーク、TV会議活用等の生産性向上や労働環境整備のためのIT投資が活況となるなか、全国各地の営業拠点を活用した地域密着営業を推し進めた結果、製造業・サービス業を中心とした企業向けや学校教育の情報化を推進する文教向けならびに官公庁向けの需要を的確に捉え、主力商品であるパソコンの販売台数が前期を大幅に上回りました。また、パソコン・モバイルデバイスなどの端末を中心とした複合提案の強化も実を結び、周辺機器やソフトウェア、モニタの販売も増加しました。

一方、個人向け市場でも、パソコンの更新需要が高まることともに、小学校のプログラミング学習必修化やeスポーツの盛り上がりもあるなか、各メーカーや量販店との連携により顧客ニーズに合わせた市場開拓に取り組んだ結果、パソコンやソフトウェアの販売は好調に推移しました。

今後の方針

本年度の国内IT市場は、Windows7のサポート終了に伴うパソコン更新需要の反動減、新型コロナウイルスに伴うサプライチェーンへの影響など、先行きが不透明な環境にあります。

そのような市場環境のなか、当事業におきましては、パソコンをはじめとする端末にこだわったビジネスに注力するとともに、危機管理対策や働き方改革により環境整備が進むテレワーク等の需要や、政府が小中学校に1人1台のパソコンを配備する「GIGAスクール構想」による文教分野の需要獲得に努めてまいります。

また、当社が提供するライセンス契約管理システム「iKAZUCHI(雷)」のサービスの充実やサポート体制を一層強化し、市場拡大が進む継続課金型(サブスクリプション)ビジネスの取り組みを全国の営業拠点を通じて更に推進いたします。

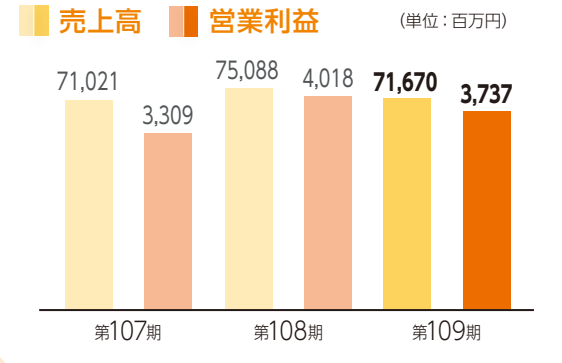


繊維事業



大和紡績株式会社
代表取締役社長
齊藤 清一

SDGsを前面に出した
取り組みを推進し、
環境に配慮した商品開発を
進めてまいります。



第109期の概況

合織・レーヨン部門では、除菌・制汗関連製品の販売が増加しましたが、コスメ用不織布や不織布用レーヨンの収益が低迷しました。産業資材部門では、フィルターや建築資材などの機能性資材の販売は好調に推移しましたが、テントなどの重布は振るいませんでした。また、衣料製品部門では、インバウンド需要の減退により売上が減少し、暖冬の影響を受け苦戦を強いられましたが、機能性商材の受注が増加しました。

今後の方針

ESG(環境・社会・ガバナンス)経営やSDGs(持続可能な開発目標)を事業運営の基本に据え、グループ結束力の強化により、独自素材・加工を活用した「ファイバー戦略」を押し進めてまいります。合織・レーヨン部門では、衛生材料用途やコスメ関連について機能向上に注力するとともに、生分解性機能を活かして環境に配慮した開発品の提案に取り組んでまいります。また、産業資材部門では、5G(第5世代移动通信システム)の普及に向け、フィルターの拡販を図る一方、戦略素材については海外拠点を活用した地産地消ビジネスを推進してまいります。更に、衣料製品部門では、機能性素材を中心とした開発提案型営業をベースにコスト競争力のある海外拠点の有効活用を図るとともに、ブランド製品における新規ブランドの立ち上げや新規販路の開拓により、収益性の向上に努めてまいります。

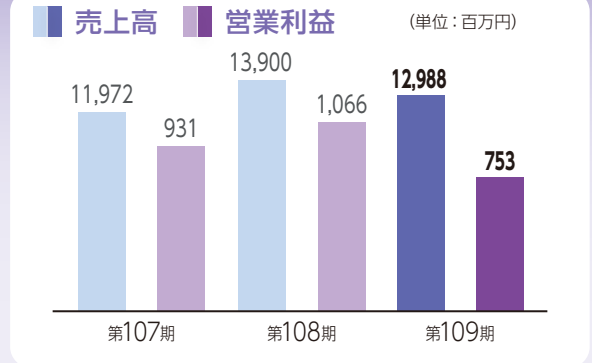


産業機械事業



株式会社オーエム製作所
代表取締役社長
佐脇 祐二

顧客サービスの拡充と、
従業員教育を通して、
企業価値向上を図ります。



第109期の概況

工作機械部門では、主力の立旋盤について、航空機・鉄道・金属素材分野を中心に受注促進に努めましたが、米中貿易摩擦に起因した顧客の設備投資への慎重な姿勢から成約まで時間を要するなど、収益面では厳しい状況が続きました。自動機械部門では、医薬品・食品・製菓などの幅広い業界から、省人化、効率化による設備投資のニーズがあり、利益面では改善しました。

今後の方針

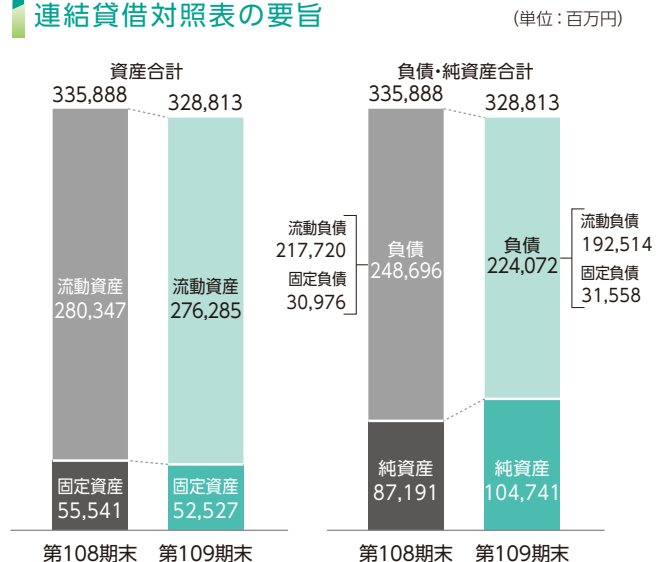
工作機械業界の受注環境は不透明な様相にありますが、生産設備の増強や技術提案力の向上により、顧客対応の迅速化とソリューション型ビジネスの深耕に注力し、高収益体制の確立を図ってまいります。また、播磨テクニカルセンターの活用やサービス体制の拡充により、顧客へのアフターサービスの充実を図り、事業競争力の強化に努めてまいります。更に、顧客ニーズへの対応やAI・IoTを活用した商品開発について、人材育成による技術力の強化やグループ連携・産学共同研究などの戦略的アライアンスを継続して推進することにより、新規事業の創造に取り組んでまいります。

会社概要

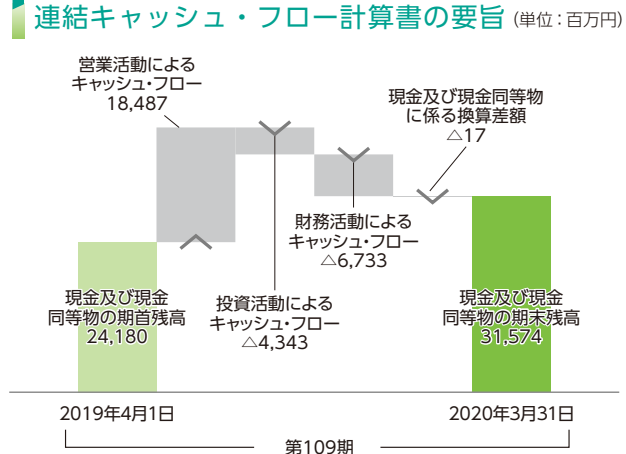
社名 ダイワボウホールディングス株式会社
 資本金 21,696,744,900円
 創立日 1941年4月1日
 事業拠点 本社
 大阪市中央区久太郎町3丁目6番8号
 御堂筋ダイワビル (〒541-0056)
 TEL.06-6281-2325
 連結従業員数 5,654名(2020年3月31日現在)
 (2020年6月26日現在)

代表取締役社長	西村幸浩
代表取締役専務取締役	有地邦彦
常務取締役	辰巳敏博
社外取締役	土肥謙一
社外取締役	中村一幸
常勤監査役	平岡好信
常勤監査役	小野正也
社外監査役	藤木久
社外監査役	植田益司

連結貸借対照表の要旨



連結キャッシュ・フロー計算書の要旨



ホームページのご案内

当社はホームページにおきましても最新のトピックスをはじめとして、IR情報や会社案内、事業案内など様々な情報をご案内しております。
<https://www.daiwabo-holdings.com/>



ITインフラ流通事業

全国の企業のテレワーク導入を積極的に推進

近年、労働人口減少に伴う人手不足解消の取り組みや、「働き方改革」による個々の事情に応じた多様な柔軟な働き方の普及、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い企業の在宅勤務、テレワークの導入が急速に進んでおります。
 ダイワボウ情報システム株式会社は、「テレワーク導入推進コンソーシアム」を通じた活動やWEBセミナーイベント等により、全国の営業拠点を通じて、テレワークの普及を積極的に支援してまいりました。今後は、テレワークに必要なネットワーク、セキュリティ、クラウドソリューション等マルチベンダーのITディストリビューターとして、企業規模や変化するワークスタイルに適合する最適なテレワーク環境を提案することで、お客様のビジネスを強力にサポートしてまいります。



繊維事業

「SDGs Weekエコプロ2019」
 「気候変動・災害対策Biz2019」に出展

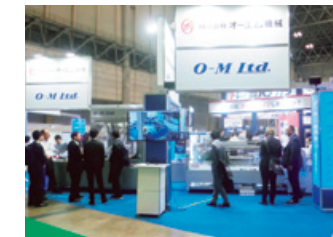
繊維事業会社各社は、2019年12月に東京ビッグサイトで開催された「SDGs Weekエコプロ2019」「気候変動・災害対策Biz2019」に出展しました。国連が定めた17の目標「SDGs(持続可能な開発目標)」への取り組みが世界的に活発化しています。「SDGs Weekエコプロ2019」では、海洋生分解レーヨン、土中生分解不織布、植物由来樹脂を使用した複合生分解繊維、ジーンズからリサイクルしたレーヨンなどの新素材を通じて、繊維によるサステナブルを分かりやすく紹介しました。また「気候変動・災害対策Biz2019」では、建物内への浸水を防止する折り畳み可能な止水シートやエアテントなどを提案しました。今後も、繊維事業を通じて、豊かで持続可能な社会の実現を目指してまいります。



産業機械事業

「JAPAN PACK 2019 日本包装産業展」に出展

株式会社オーエム機械は、2019年10月29日から4日間、幕張メッセで開催された「JAPAN PACK 2019 日本包装産業展」に出展しました。国内外から来場者があり、ブースには460名の方に来場いただきました。今回は、一層の効率化を求めるユーザーに向けたVCRC75機型カートニングマシンにパラレルリンクロボット式自動供給装置を加えた機械設備と、働き方改革を契機に初めて効率化設備の導入を進めたいユーザーに向けたVCVD80立型カートニングマシンの機械設備を展示し、商談へ繋げております。オーエム製作所グループは、各種展示会での出会いを大切に、設備機械を通じて社会貢献できるように取り組んでまいります。



株式の状況

(2020年3月31日現在)

● 発行可能株式総数 ———— 40,000,000株

● 発行済株式の総数 ———— 19,271,292株

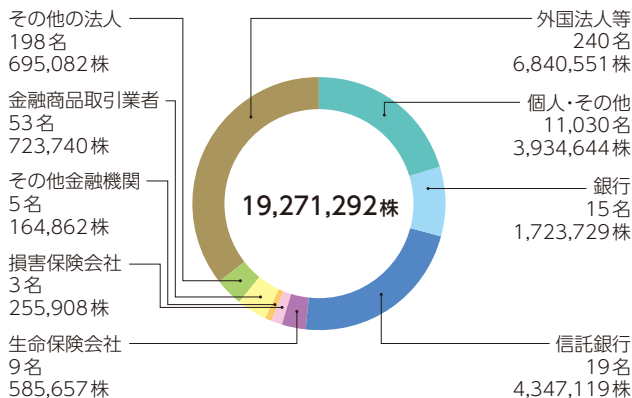
(注) 上記のうち42,086株を自己株式として保有しております。

● 株主数 ———— 11,572名

● 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,494
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	929
ダイワボウ従業員持株会	691
3D OPPORTUNITY MASTER FUND	623
株式会社三菱UFJ銀行	616
第一生命保険株式会社	400
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	354
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	341
JP MORGAN CHASE BANK 385151	324
株式会社山陰合同銀行	313

● 所有者別株式分布



株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

基準日 毎年3月31日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
☎ 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL
<https://www.daiwabo-holdings.com/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。